

## 基本練習問題 2-3

<解答>

材料 C の当月消費額 : 18,460 円

材料 C の月末有高 : 3,132 円

棚卸減耗損 : 108 円

棚卸減耗損の仕訳

4/30 (借) 製造間接費 108 (貸) 材 料 108

### 【解説】

先入先出法によっているので、4月9日と26日の材料Cの消費において、4月1日（前月繰越）、5日、18日のどの日に購入した材料が消費されたかについて把握することが必要になる。

#### ①4月9日の消費

180個の消費のうち、4月1日の前月繰越分80個（@50円）がまず消費されて、残り100個の消費は5日に購入した200個（@48円）の中から消費されるので、9日の材料消費額は次のようになる。

$$50 \times 80 + 48 \times 100 = 8,800 \text{ 円}$$

#### ②4月26日の消費

290個の消費のうち、100個は5日に購入した200個（@48円）のうち9日に消費されなかった残り分がまず消費されて、残り90個は18日に購入した150個（@54円）の中から消費されるので、26日の材料消費額は次のようになる。

$$48 \times 100 + 54 \times 90 = 9,660 \text{ 円}$$

4月末時点で材料Cの帳簿棚卸数量は18日に@54円で購入されて26日に消費されなかった60個のはずだが、実地棚卸数量は58個であったことから、2個分の棚卸減耗損が発生していることが明らかになる。それゆえに、

材料Cの月末有高 :  $54 \times 58 = 3,132$  円

棚卸減耗損 :  $54 \times 2 = 108$  円 となる。

※棚卸減耗損は原則として「製造間接費」で処理する。